

北九州市立菊陵中学校
学校だより
令和6年3月11日号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

不 易 流 行 ～感謝と自立～

3年生は卒業し、1・2年生は進級する、令和5年度の一年間が終わろうとしています。

卒業・進級という節目にあたり、皆さんの今後の活躍を期待しながら「不易流行」という言葉を送ります。

これは、俳聖松尾芭蕉が「奥の細道」の旅をする中で体得した概念だと言われています。「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。

「不易」は、みなさんに様々な機会で言い続けてきた「感謝」と「自立」です。いろいろなことに感謝できること人、「ありがとう」と素直に言える人、そして、感謝される人、「ありがとう」と言われる人になり続けてください。

また自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくという、自己実現力としての「自立」を意識してもらいたいです。「自分がやりたいこと」を「自分で見つける」のです。おうちの人や周りの人がやって欲しいことはありません。自分の人生を自分で展開するということができる人になってほしいです。

これから大きく変化するであろう世の中では、これまでの習慣や常識に頼る考えでは実社会での活動にそぐわない点も出てきます。みなさんが次のステージに生きる中で、決まりごとや考え方に何か違和感を感じたら、一度立ち止まって考えてみてください。他人の意見を鵜呑みにせず、自ら情報を集めて、自分で考えてみてください。いろいろな立場の人と対話して、いろいろな視点から少し掘り下げてみてください。いろいろな意見を持った人と

交わり、話し合い、考えを共有していくことがこれからの世の中では欠かせません。そういう社会的な関係を、是非、みなさん一人ひとりが創ってってください。これが、私からみなさんに伝えたい「流行」です。

このような「不易」と「流行」は、それぞれ無関係のものではなく、「不易」があつての「流行」であり、「流行」があつての「不易」であることも忘れないでください。

変化する世の中を生きていく力を支えていくのは感謝する心と自己実現の精神です。しっかりと、胸に刻んで次のステージをスタートさせてください。

在校生のみなさん、これから菊陵中学校の伝統を引き継いでいくのは皆さんです。いつも元氣なあいさつが飛び交うことや、一・二・三年生の縦のつながりを大切にするなどの菊陵中学校の伝統を受け継ぎながらも、新しい伝統をつくり、より良い菊陵中学校を築いていってください。

卒業式 答辞より一部抜粋



保護者、地域の方々へ

保護者の皆様には、本校のPTA活動をはじめ、学校・学年や学級の諸行事・諸活動に対し、多大なるご理解・ご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

また、地域の皆様には、陰ながら学校そして子どもたちを支えていただきありがとうございます。

来年度に向けて、よりよい菊陵中学校を目指してまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。